

地理歴史

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
地理歴史	世界史探究	4	2年次・F群	選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
高校世界史（山川出版社）		明解世界史図説エスカリエ（帝国書院） 高校世界史ノート（山川出版社）		- 歴史総合を履修していなければ履修することができない。 - 歴史に興味を持ち、世界史を詳しく学ぼうとする意欲のある生徒を求める。

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての素質・能力を育成することを目指す。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2 学習計画と観点別評価項目

学 習 の 年 間 計 画	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
	1 学 期	第 1 部	1 文明の成立と古代文明の特質	4	・人類の誕生と、農耕・牧畜の開始から大河周辺に都市文明が成立していく過程を考察する。	1 2 3
			2 中央ユーラシアと東アジア世界		・古代オリエント、ギリシア・ローマの歴史を学び、文化の多様性を理解する。	1 3
			3 南アジア世界と東南アジア世界の展開	5	・アジア・アメリカの古代文明について学び、文化の違いについて理解する。	1 2
			4 西アジアと地中海周辺の国家形成	6	・唐帝国と東アジア諸民族の活動に触れ、日本を含む東アジアの形成過程を把握する。	1 2 3
		第 2 部	5 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界		・ゲルマン諸国家の形成とフランク王国、ローマ教会の発展と十字軍などを学びながら、中世ヨーロッパ史を大づかみに理解する。	1 2 3
			6 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	7	・イスラーム帝国の発展を学びながら、イスラームの文化について理解を深める。	1 2 3
	2 学 期	第 3 部	7 ヨーロッパ世界の変容と展開	9	・宋王朝の発展と北方諸民族の動きについて学び、モンゴル帝国や元王朝の発展を中心に、東西交流について理解を深める。	1 3 1 2 3
			8 東アジア世界の展開とモンゴル帝国			
			9 大交易・大交流の時代	10	・明や清、ムガル朝、オスマン帝国の発展について学習し、中国やインド、西アジアの各地域の文化について理解する。	1 2
			10 アジアの諸帝国の繁栄			
			11 近世ヨーロッパ世界の動向	11	・大航海時代やルネサンスから諸地域世界の結合が一層進展したこととともに、主権国家体制を整え、近世ヨーロッパ世界を形成していく過程を理解する。	1 2 3
			12 産業革命と環大西洋革命		・世界市場の形成を葉池にしたヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の対応を学習し、17～18 世紀のヨーロッパの文化を理解する。	1 3
			13 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	12	・フランス革命とナポレオン、アメリカ独立革命、産業革命について学習し、欧米での国民国家の形成について理解を深める。	1 2
				・ウィーン体制の成立と、その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を理解する	1 2 3	

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

	3 学 期	1 4 アジア諸地域の動揺	1	・インド・東南アジアの国々が植民地化されていったことを理解する。インドの植民地化がイギリスの産業革命と関わっていることを理解する。	1 2 3
		1 5 帝国主義とアジア民族運動		・帝国主義の特質を学び、帝国主義時代の欧米列強による世界各地の分割や植民地化をめぐる競合と、植民地下のアジア諸国の改革と民族運動の形成を理解する。	1 2
		1 6 第一次世界大戦と世界の変容	2	・一次世界大戦の背景と性格について理解する。また、戦争中に起きたロシア革命や大戦後のベルサイユ体制の成果と矛盾について理解する。	1 3
		1 7 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成		・世界恐慌以降に国際的な緊張が高まり、第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大、米ソの国際的地位の高まりを理解する。	1 2 3
		1 8 冷戦と第三世界の台頭	3	・冷戦期の世界の動向を米ソの対立を中心に考察し、アジア・アフリカ諸国が第三勢力として台頭していく中で、米ソの対立が緩和していったことを理解する。	1 2 3
		1 9 冷戦の終結と今日の世界		・途上国の民主化や地域紛争の激化を学び、そこから起こる諸問題について考える。	1 2 3
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能		2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
	規 準	○世界史の基本事項が身に付いているか。 ○現代の世界の成立について、歴史的な流れが理解できているか。		○世界史の出来事が「なぜ」起こったかについて説明できるか。 ○歴史的事象が及ぼした影響について説明できるか。	○授業や世界のできごとに関心を持っているか。 ○発表に意欲的に取り組んでいるか。
	手 段	・定期テストや授業中の応答、課題など		・定期テストや授業中の応答、課題など	・授業中の応答や態度、課題など
	価	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」から総合的に評価する。	
学習上の留意点		・毎時間教科書と資料集、準拠ノートを持参する。 ・課題等提出物は期限内に提出する。			